

新生児聴覚スクリーニング検査をご存知ですか？



生まれつき耳の聴こえにくいお子さんは1, 000人におよそ1~2人とわれています。

聴こえにくさを早期に把握し、適切な対応をすることで、その後のことばの発達や、より良いコミュニケーションの獲得につながるといわれており、早期把握の方法の一つとして、新生児期に行う聴覚スクリーニング検査があります。

新生児聴覚スクリーニング検査について



検査は出産後、産科医療機関に入院中などに行われます。正確度が高く、安全で、短時間に検査が行える検査機器が開発されています。

検査では小さい声レベルの音への反応を確認でき、軽度の難聴から発見ができます。

スクリーニング検査の結果、必要な方は精密検査となりますが、聴こえに心配がないお子さんでも、中耳にたまった羊水や耳垢などにより、音への反応が得られず、精密検査が必要となる場合があります。より詳しい精密検査が必要となった場合は、必ず受けるようにしてください。

新生児聴覚スクリーニング検査を受けられることをお勧めします（費用等詳細はかかりつけの産科医療機関にお尋ねください）。また、子育ての中で、お子さんの聴こえなどについて心配なことがある時は、かかりつけ医や保健センターにご相談ください。

※母子健康手帳の「保護者の記録」のページや、このチラシの裏面に、お子さんの聴こえを確認する項目がありません。参考にしてください。